

[成果情報名] アワビの成長速度の鈍化について

[要 約] 令和4年度に漁獲されたアワビの成長速度は、昭和41年度及び平成4～6年度のそれと比較して鈍化傾向にあり、一部の地区では漁獲サイズに達するまで1～2年遅くなっていた。

[部 署] 山形県水産研究所・浅海増殖部

[連絡先] TEL 0235-33-3150

[成果区分] 研

[キーワード] アワビ、成長速度

[背景・ねらい]

本県の採貝藻漁業における重要魚種であるアワビの漁獲量は周期的な増減を繰り返してきたが、近年は平成27年度の17トンピークに減少し記録的な不漁が続いている。減少要因解明のため、成長量の変化について過去のデータと比較を行った。

[成果の内容・特徴]

- 1 令和4年度のアワビのサンプルは由良地区および小岩川地区で漁獲されたクロアワビの殻とした。また、平成30年度に由良、小波渡、温海地区において採取された真珠層が劣化していないクロアワビの殻を斃死後3年以内と仮定し、これらを平成28～30年度のサンプルとした。
- 2 サンプルは10%水酸化ナトリウム溶液に液浸して表面の付着物を除去し、藤本(1967)に倣った透過光による方法(図1)によって年輪を判別し、年齢ごとの殻長(以後、成長量)を求めた。
- 3 成長量について、昭和41年度及び平成4～6年度に同海域で取得したデータ*を用い、地区ごとに年代別の比較を行った(※昭和41年度事業報告、平成4～6年度増殖場造成事業調査委託事業調査結果報告書(磯焼け対策調査)より引用)。成長速度は鈍化傾向にあり、令和4年度の由良及び小岩川地区が最も遅かった(図2)。
- 4 上記のアワビが本県の漁獲サイズである殻長10cmに達した年齢(漁獲加入年齢)を表1に示した。一部の地区においては、平成初期との比較で漁獲加入年齢が1～2年遅くなっていた。

[成果の活用面・留意点]

- 1 本データは、アワビ漁獲量の減少要因の検討、漁獲加入年齢の推定に活用できる。
- 2 令和4年度及び平成28～30年度のアワビのサンプルは、放流貝(エゾアワビ)の特徴であるグリーンマークのない貝であるが、放流貝の再生産貝や交雑貝が含まれている可能性がある。昭和41年及び平成4～6年度の報告書データも同様である。
- 3 アワビの成長の遅速は餌料環境や水温が影響するとの知見があり、近年上昇が顕著である水温が関係している可能性も考えられる。

[具体的なデータ]

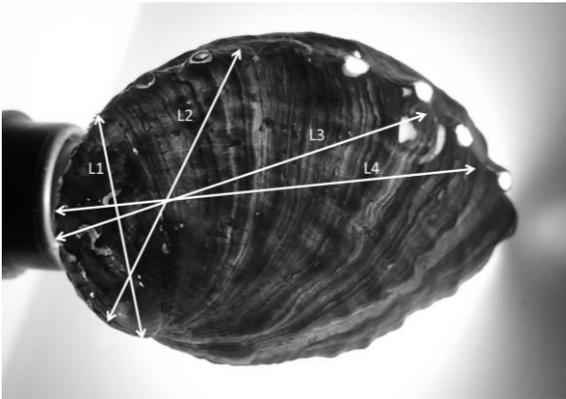


図1 年齢ごとの殻長
($L_1 \sim L_n$: 螺頂部側の貝殻周辺部から各年輪までの長さ)

表1 漁獲サイズ(殻長 10 cm以上)に達した年齢

	年齢
昭和41年度由良	5
平成4~6年度由良	5
平成4年度温海	5
平成5年度小岩川	6
平成6年度早田	5
平成28~30年度由良	5
平成28~30年度温海	6
平成28~30年度小波渡	6
令和4年度由良	7
令和4年度小岩川	7

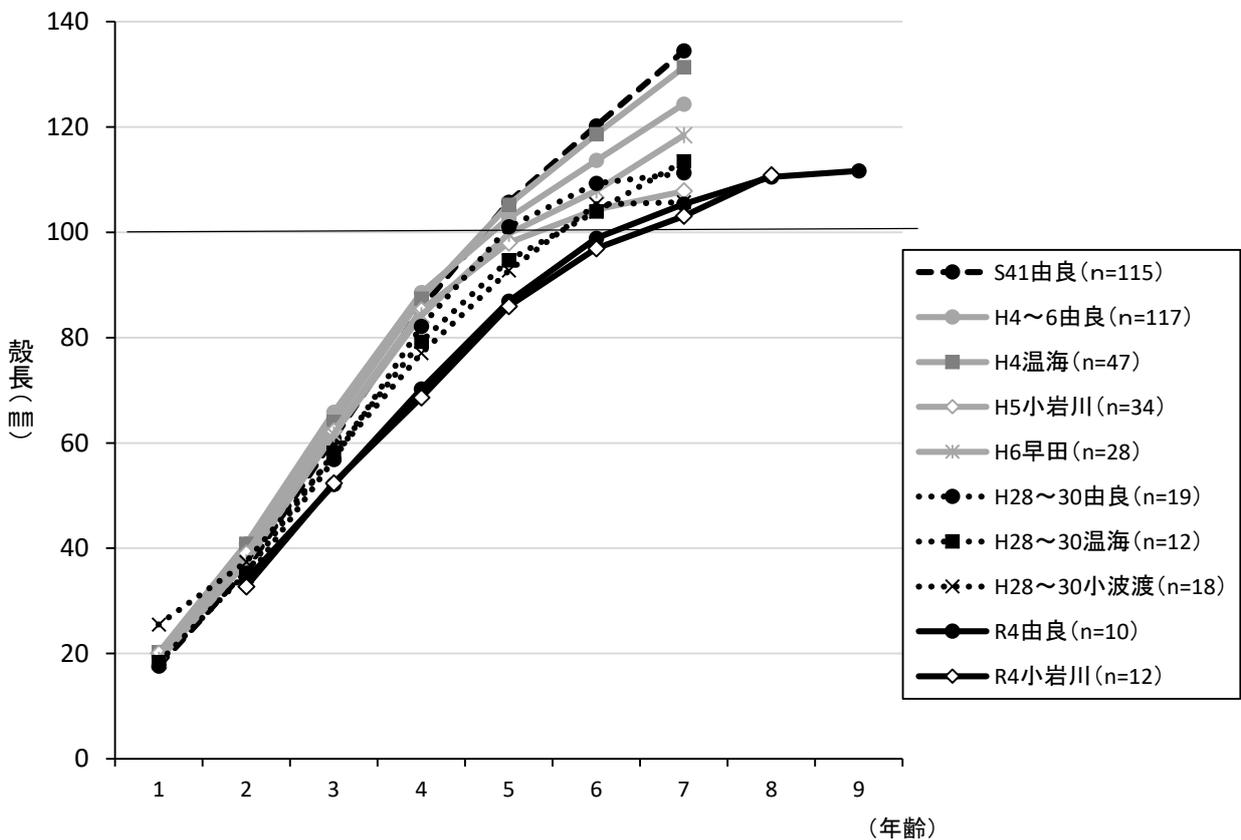


図2 アワビの年代別・地区別の成長量の比較

[その他]

研究課題名：増養殖技術指導
 予算区分：県単
 研究期間：令和4年度(令和2~6年度)
 研究担当者：古山 遥
 発表論文等：なし